

平成25年 2月 1日

さくら

広島市立落合小学校校長室発

No. 9

学年のまとめに向けて

冬休みが終わって早くも一ヶ月が過ぎ、今年度もあと二ヶ月となりました。どの学年も大切なまとめの時期となりました。今号は、それぞれの学年の活動の様子を簡単にお伝えします。

6年生は卒業まであと32日となり、カウントダウンが始まっています。最高学年としての自覚を持ち、さまざまな場面で学校を支えてくれました。優しく行動的な6年生でしたので、低学年の子どもたちもお兄さんお姉さんが大好きでした。残り少なくなった小学校生活です、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。4月からはきっと頼もしい中学生として、新しい一歩を力強く踏み出してくれることと思います。

5年生は、1月末に落合幼稚園との交流を行ないました。幼稚園の遊戯室や園庭で折り紙をしたりサッカーやブランコで遊んだりして、とても楽しい時間をすごすことができました。園児たちから憧れのまなざしを受け、張り切っていた姿が印象的でした。来年度6年生と1年生として多くの場面で関わる姿を楽しみにしています。

4年生は、図工科でお話の絵に挑戦しました。小学校の国語の教科書に載っている、「てぶくろをかいに」というお話です。もしかすると保護者の方で、小学校時代に学習された方もおられるかもしれません。かわいい子ぎつねが、雪の夜手袋を買いに町に出かけ、無事に人間から暖かくてかわいい手袋を買って帰るお話です。{たらしこみ}という技法で、木々をカラフルな色に仕上げ、雪の夜の母子ぎつねをかわいく描きあげていました。とても素敵な絵でした。

3年生は、総合的な学習の一環として広島菜漬作りに挑戦しました。本来なら学級園で育った広島菜を使う予定でしたが、生育がよくなかったため、本校職員から広島菜を分けていただき、3年生が育てたかわいい広島菜と一緒に漬けました。冷たい水で塩漬けにした広島菜を何度も洗い、昆布と一緒に漬けこんだ広島菜漬は上手くできていて、とってもおいしかったです。貴重な経験をしました。

2年生は、1月後半インフルエンザに罹患する児童が多く、学級閉鎖をするなど心配をしましたが、現在はずいぶん元気になりました。生活科の学習「あしたへジャンプ」

で、自分が生まれた時のことから現在までの成長の過程を、母子手帳や写真などで知り、自分の歴史としてまとめています。深い愛情が注がれ今の自分がいることを実感しながら、楽しくまとめています。

1年生は、昔の遊びを教えていただく会を行ないました。紙飛行機・こま回し・お手玉・竹とんぼ・けん玉・たこ揚げ・ゴムとびの七種類の遊びを教えてくださいました。初めて体験する遊びもあり、目を輝かせて夢中になって遊びました。教えてくださる地域の先生方もとっても楽しそうで、和気あいあい、そして熱気あふれる会となりました。本当にありがとうございました。またこれから、幼稚園年長組との仲良し会も予定しています。

暦の上では節分・立春と「春」の足音が聞こえてくる2月です。元気いっぱい意欲を持って、何事にも取り組んでいく素敵な落合っ子たち、新年度に向かって大きくはばたいてほしいと願っています。

思 い を 言 葉 に

工藤直子さんの詩集「のはらうた」のなかから「あいしょう」という一編です。

落合の子どもたちが皆こんなふうに、友達を大切に思い、仲良しの輪が広がっていくことを期待しながら、紹介します。

あいしょう

あのこと ぼくの
なかよしぐあいはい たいしたもんだ
つまり「あいしょう」がいいんだな
つまり きもちが ぴったりなんだな

あそんで たのしいだけじゃない
ケンカだって じゃんじゃんするさ
やっても すぐに なかなおり
これぞ「あいしょう」の いいとこさ

アイショウが いいって ふっふっふ
なんだか うれしい ほっほっほ
マントが ふわりと かかったような
ぽっかぽっかの あじがする

